

檜の木だより

2024年7/1

第115号

ひとりひとりひかる

きぼろ

発行：檜の木福祉会（法人本部）

かしの木の会

一宮市富田字砂原 2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

檜の木福祉会 ホームページ

[http : www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



～ 運動会 ～

4月の終わりから5月にかけて事業所ごとに運動会を行いました。

(詳細はP4、P5にて)

【 目 次 】

- 1P 表紙
- 2P かしの木の会総会
- 3P 新規採用者研修
- 4P 運動会
- 5P 運動会
- 6P 新規採用者紹介など、お知らせ

第44回かしの木の会総会を終えて

「かしの木の会」会長 清水 二美

春が深まり、吹く風に初夏の気配が感じられるようになった4月27日(土)に尾西庁舎6階大ホールにて「かしの木の会総会」を行いました。

新型コロナ感染症予防のために2020年から書面表決にて行っていた「かしの木の会総会」ですが、5年ぶりに対面で開催することができました。コロナ禍前の規模とはまいりませんでしたが、当日は衆議院議員 長坂康正様、愛知県議会議員 佐藤英俊様をはじめ来賓の方々、榎の木福祉会の役員の方々、かしの木の会会員の皆様にご出席いただき、温かいご祝辞を賜りました。この紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。また、ご都合により出席いただけなかった会員の皆様に出していただいた委任状により、提案いたしました全ての議案は滞りなく可決されました。ご理解ご協力ありがとうございました。

総会に続いて行われました学習会では、榎の木福祉会法人本部事務局長 野崎貴詞様に「災害に備える」というテーマでお話をいただきました。今年元日に発生した能登半島地震をきっかけに、防災についての意識が高まっているこの時期にタイムリーなテーマで会員の皆様には興味深く聞いていただけたのではないのでしょうか。能登の障がい者施設の現状や課題について、また地震のみならず様々な災害に対する一宮市や福祉会の取り組みについてお話くださり、災害への不安も少し軽くはなりましたが、この学習会が個々人の災害に対する備えについて見直すきっかけになれば幸いです。



そしてこの総会をもって、2019年から会長としてご尽力くださっていた小杉ひふみさんがその職を退かれました。2020年初頭から始まったコロナ禍で、対面で会議をすることもかなわず、諸々の行事や活動もどんどん制限されていきました。その中でそれまでの活動内容を見直し、コンピューターの知識を駆使してオンラインでの情報の管理や発信する仕組みを作っていました。そのおかげで長き間にわたったコロナ禍の時も、会の活動を止めずに続けることができました。また広い視野で、「かしの木の会」の活動だけでなく福祉会の運営にも心を砕かれ、様々な課題に取り組んでこられた姿勢には感服するばかりです。私が引き継いでやっていけるのかと不安が募りますが、小杉前会長には引き続きお力添えをいただき、また運営委員会の役員の皆様のお力をお借りして、「かしの木の会」の運営に精一杯あたってまいります。これからもどうぞよろしく願いいたします。



コロナ禍で制約のあった活動からやっと抜け出し、役員交代があり、これから新しい一歩を踏み出す本会です。まずはかねてからの課題である組織の改革に取り組んでいきたいと思っております。会員総数400名超の大きな「かしの木の会」ですが、年々会員の高齢化は進んでいます。運営委員会の役員のなり手不足も深刻です。今後は組織の再編成を進め活動内容の見直しをしていきます。会員の皆様のご意見に耳を傾け、時間をかけて話し合いを重ねて、これからの「かしの木の会」の進む方向を決めていく所存です。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

新規採用者研修

今年度の新規採用者研修は、令和6年4月23日（火）、4月24日（水）の2日間で実施しました。

お忙しいところ講師を引き受けて下さった職員の皆様ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、新規採用者の方が受講された研修内容は以下の通りです。

【4月23日（火）】

- ・基本理念
- ・医療、保健
- ・重心・医療的ケア
- ・介護技術
- ・救命講習
- ・てんかん

【4月24日（水）】

- ・榎の木福祉会の職員として
- ・発達障害（自閉症）
- ・グループワーク（本人の意志の引き出し方）

受講された皆様、研修はいかがだったでしょうか。研修委員会では、実施にあたりどのような研修内容がいいのか、メンバーの中で協議を重ねてまいりましたので、少しでも良い研修であったと感じていただけたら幸いです。

私も2日間同席させていただきましたが、皆様の真剣に受講されている姿が印象的でした。研修の中には、現在所属している事業所での支援とはあまり接点がない内容もあったかと思いますが、話に耳を傾けながらメモを取る姿に私自身も刺激を受けました。基本的には座学が中心でしたが、介護技術の科目では、実際にとろみ食を作り、食事の支援を行うほか、おむつの交換を体験していただきました。

頭では理解しているけれど実際に行ってみると難しく、普段の勤務で先輩が普通に行っている事に改めて驚かれたのではないのでしょうか。知っている事と出来る事には大きな違いがある事を感じる機会になったかと思えます。

グループワークでは3時間程度設け、2つのグループに分かれて本人の意志の引き出し方を検討しました。グループごとに違う内容のケースを準備させていただき、受講者の方々には、相談支援事業所の職員であると設定して意見を出し合いました。利用者の意思を確認し、どのように提案するのか…大切な事であると分かっているが、どうしたらいいだろうと迷いながらも意見を出し合っている姿が印象的でした。しかし、支援者としての意見が優先されてしまい、本人のニーズや希望の優先順位が変わってしまう場面も見られたため、

随時研修委員がアドバイスをさせていただき、大切な事は何か確認していきました。私自身も利用者への関わりが、ニーズや希望に沿ったものになっているのか、再点検する機会をいただけたなと感じております。グループワーク後には、各々発表していただきました。発表の仕方にも個性が見られ、実際に利用者さん役を作り、提案する形式を取られるグループもあり驚かされました。経験を重ねて行く中で、今後担当者会議への出席等、意見を出し合う機会もあるかと思っておりますので、今後活かしていただけたら幸いです。



今回新規採用者研修を受講された方々は榎の木福祉会の中では同期となります。普段の業務では、顔を合わせる機会が多くはありませんが、楽しい事や仕事でのつまずき等の辛い事も話し合い、横の繋がりを大切にしていただければと思います。これから榎の木福祉会の職員として、今回学んだ事や感じた事を大切にしていいただきながら、日々の業務に励んでいただければ幸いです。10月には、新規採用者フォローアップ研修が予定されております。今回の研修から半年経過し、考える事や感じる事も多くなっていると思っておりますので、楽しい事や困っている事等ざっくばらんに話し合う事ができたらと思います。

以前までの新規採用者研修は、3日間実施しておりましたが、昨年度から諸事情により2日間に変更しました。その結果1日の研修時間が長くなってしまいました。受講者の負担等懸念もありましたが、研修後に事業所に戻る事がなかったりして、1日のスケジュールが把握しやすいといったご意見もいただいたため、変更の良い面があって安堵しております。

今後も研修委員会はスキルアップ研修や外部講師をお招きしての研修等様々な研修を企画してまいります。日々の支援の一助になれば幸いです。これからも、こんな研修を受けてみたい、企画してほしい等のご意見に答えられるよう頑張りたいと思います。

研修委員会 長瀬雅啓

一人ひとりが輝く榎の木運動会 ～榎の木作業所・榎の木園・ステップ～

雨天になるか危ぶまれていた当日の朝、何とか持ちこたえてくれた曇り空の中、着々と会場準備が進められていました。私は初めての参加で、何をお手伝いしたら良いのか戸惑いながら、どのような運動会になるのだろうと気分は高まっていました。

今年も、榎の木作業所、榎の木園、ステップの3事業所合同での運動会を行いました。利用者さんが外に出て身体を動かすことや、集団の中に参加してもらうため行われる行事となっています。利用者さん達は普段と違った雰囲気の中、笑顔でとても楽しまれていた様子でした。



利用者さん達に、開会宣言や各競技の役割などを事前に依頼しました。人前に立つという緊張感や、役割をやり切ることの達成感、この2種類の刺激を得る機会として、企画が考えられ、皆さんの普段の活動中とは違った表情を見ることができました。作業所外での利用者さんの過ごし方を見ることが初めてだったので、競技をやり切った後、会場から拍手が起こった際に利用者さんが笑顔になる瞬間を目の当たりにし、とても心が温まりました。役割が適材適所で割り振られていたこともあり、一人ひとりの持ち味がしっかり生きた良い運動会になっていたのではないかと感じました。

今回の運動会には、総勢100名を超える利用者さんが参加されており、開会式の時点で人混みから、熱気を感じるほどでした。利用者さんの様々な表情や、競技に精一杯取り組まれる姿を見て、私自身もとてもパワーを貰うことができました。「職員も同時に楽しむことが重要」という言

葉をよく耳にしますが、それらを意識することもなく、当日は「一瞬で終わってしまった」と感じるほど、私自身も心から楽しむことができました。

競技の内容としては、「パン食い競争」「追いかけ玉入れ」「チャレンジ競争」の計3種目がメインとして企画されていました。

パン食い競争では、“わがんせ”からできたてのパンが用意され、目当てのパンに一直線。白熱したバトルがレーンごとに展開されました。会場からは様々な歓声が上がり、目当てのパンを取ることができた利用者さんが、おいしそうにほおばる姿も印象的でした。

チャレンジ競争では、各事業所が考案された内容を、それぞれチームに分かれて実施しました。作業所からは、細かく分割されたイラストを貼りつけて、一つの作品を完成させる「イラストパズル」と、リレー方式でゴールを目指す「大玉転がし」の2種目を行いました。普段は作業室の異なる方々が、一つのチームとして協力し合う貴重な場面を共に過ごすことができ、良い経験になったのではないかと感じました。



今回、入職して初めて大きなイベントに参加させていただき、作業所内でも普段なかなか関わりが持てていなかった利用者さんとも、会場の雰囲気も相まって自然に接することができました。このような機会が定期的に行われることで、利用者さんの新たな一面を見ることができるチャンスが増え、とてもありがたいことだと改めて感じます。

作業所に異動し、あまり月日が経っていないということもあり、不慣れな環境で、緊張感が抜けきっていない状態から、一歩前進できたように感じ、内心ほっとすることができました。

運動会実施報告 ～かしの木サポートプラザ～

運動会本番に先駆け、ゴールデンウィークの合間4月30日（火）運動会の予行練習を行いました。緊張しながらも真剣にルールを聞く姿や、笑顔いっぱい楽しむ姿など、素敵な表情を見ることができました。本番で使う応援用の手持ち旗や鳴り物も作って、運動会に向けて一気に気持ちを高める1日となりました。

そして迎えた5月2日（木）本番！前日の夕方まで雨が続き、屋外で開催できるだろうかと心配していましたが、朝からスッキリと晴れ園庭に張った万国旗が青空に映える中、無事に運動会を開催することができました。

開会宣言では利用者さん代表が「がんばるぞ、オー！」とポーズを決め、利用者さんと職員が一体となり笑顔と気合いが入ったスタートに！



『ボール運びリレー』は、2人でタオルの両端を持ちボールを乗せて運びます。息が合わないとなかなか難しく、走りに集中するとボールが落ちてしまうので、一緒に声を掛け合いながら頑張りました。2チームで競い合いましたが、なかなかの接戦で見応えがありました。

『みんな大好き！スペシャルパン食い競争』は、ゴールのパン食いまでに、「紙コップタワー積み」と「フラフープくぐり」がありました。職員と一緒に積み上げたコップを笑顔で倒してしまう方や、フラフープを回しながら走り出す方など、個々のマイルールでゴールを目指し、パンに向かって走る姿は最高の笑顔でした。一生懸命に走って手に入れたパンをおいしそうに食べられる姿もあり、中には一緒に食べようとパンを職員に分けてくれる利用者さんもいらっしゃいました。



この後『探し物競争』や『追いかけて玉入れ』もあり、黄金のスーツを身にまとった謎の人物が「悪役」に扮した設定で3年連続の登場。今年も利用者さんと職員が一丸となって、逃げる悪役を追いかけて、カゴにたくさんの玉を入れ無事に倒す事ができました。

その日の午後は『ドラムサークル』がありました。全員で輪になり、大きな太鼓や小さな太鼓、鈴など好きな物を個々で選び、先生の打ち出すリズムに合わせて自由に楽器を鳴らしたり、中央に出て体を動かしてリズムに合わせて太鼓を叩くなど、楽しい時間を過ごすことができました。



運動会、ドラムサークル共に利用者さんの一人ひとりが真剣で、とても楽しそうにしている姿が印象的でした。

レクリエーションは準備が大変ですが利用者さんの笑顔を励みに、これからも楽しい企画を考えていきたいと思えます。

かしの木サポートプラザ
細川信子・加藤美穂

令和6年度 New Face

(主任昇任者)



法人本部
戸田政之 主任

かしの木の里
浅沼美樹 主任

らちえっと
鹿島隆好 主任

榎の木作業所
山田真 主任

らでうす
牛田保子 主任

(新規採用者)



法人本部
小笠原和馬さん
①読書。昼休みに散歩。
②各事業所のサービスを理解して、経理部門を任せられる職員になりたい。

そら豆キッズ
前島晃子さん
①ダンス
②夢の児童分野に配属されたので、子どもに負けたくないくらい元気で笑顔で頑張ります。

榎の木作業所
鹿島淳平さん
①絵をかくこと
②利用者とコミュニケーションをとることが好き。利用者さん、ひとりひとりのやりたいことを見出せる職員になりたい。

かしの木の里
大野有希さん
①料理
②その人らしい生活を送れるようにサポートしたい。



療育サポート
榎田千英さん
①パズルゲーム
②チームワークを大切に、一生懸命頑張りたい。

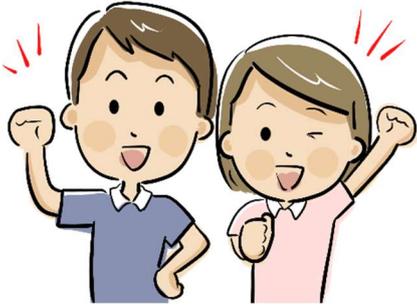


らでうす
梶浦正善さん
①野球観戦
②自分の担当ひとりひとりにできる限り支援したい。またその家族とも信頼関係を築きたい。



らでうす
佐々木柚歌さん
①推し活
②みんなを笑顔にできる人になりたい。

新規採用者の皆さんにはこんな質問をしています
①趣味、マイブーム
②こんな職員になりたいな



お知らせ



榎の木福祉会行事予定

- おやマルシェ：7月13日(土)
かしの木サポートプラザで開催
- 盆踊り：8月2日(金)らでうすで開催